

令和6年度 第1回子ども・子育て会議

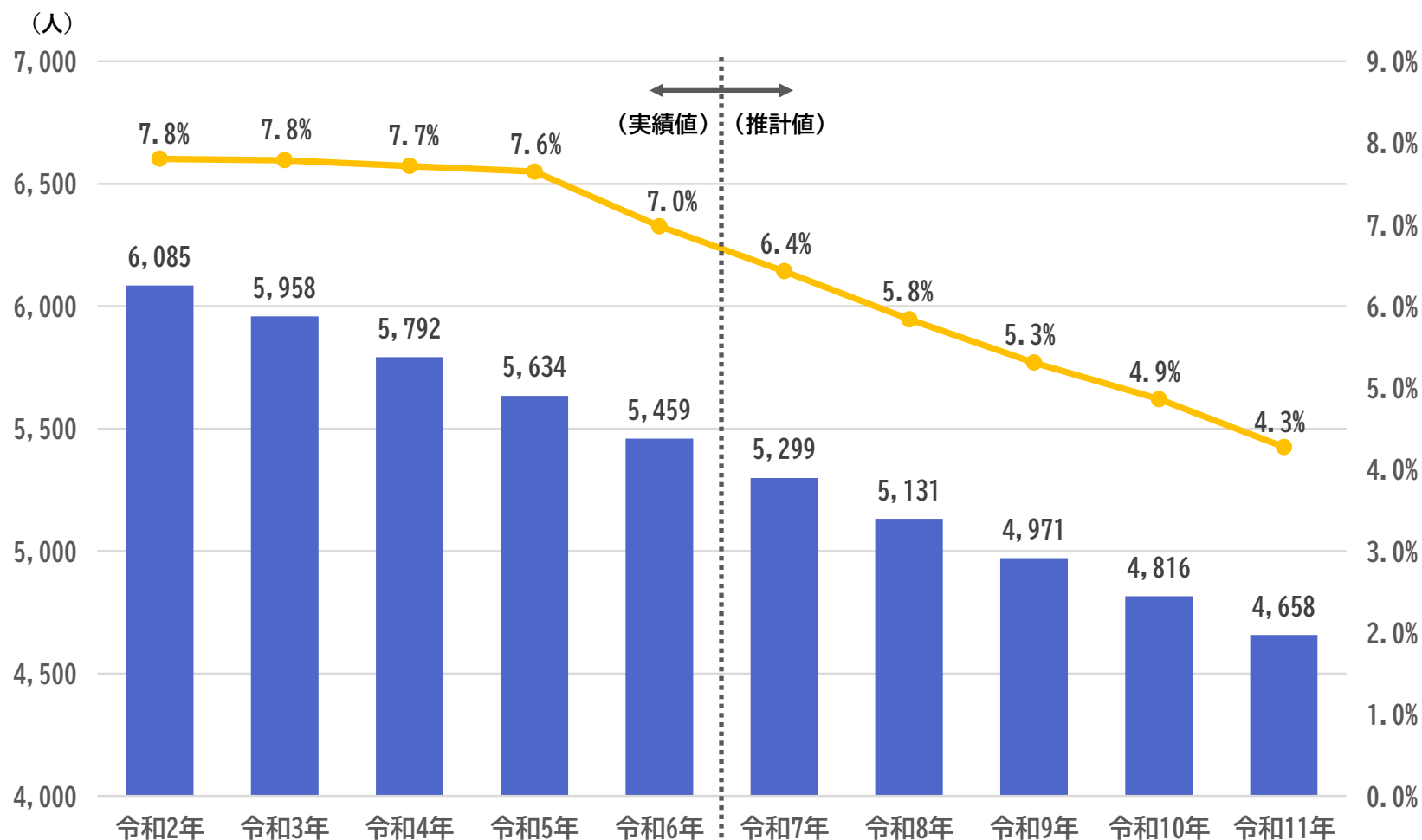
安芸太田町における現況整理及び
アンケート調査による課題の整理

日時：令和6年7月23日（火）13：30～
場所：川・森・文化・交流センター

1. 現況整理結果

(1) 人口

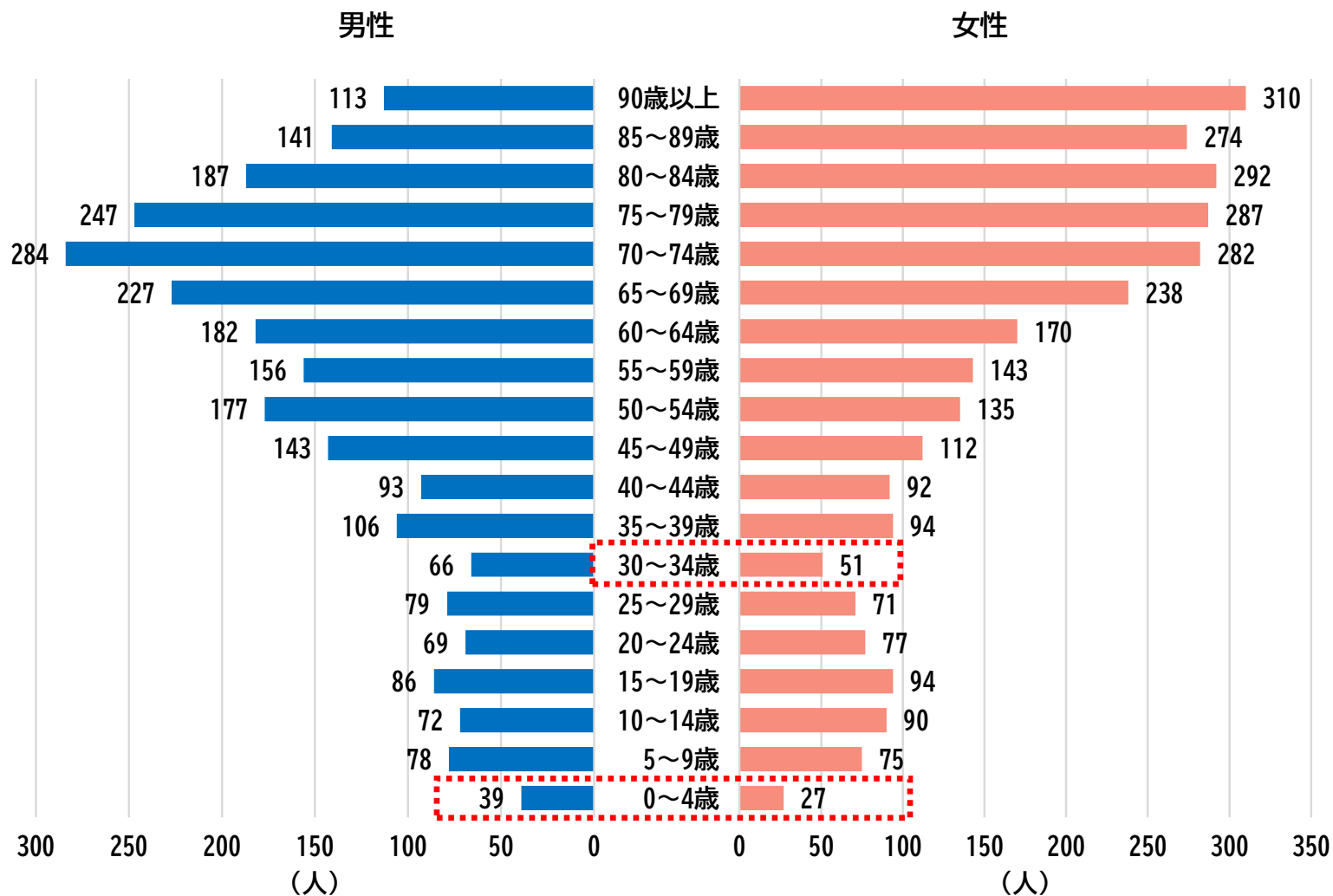
1) 人口の推移



《人口の推移及び15歳未満人口割合》

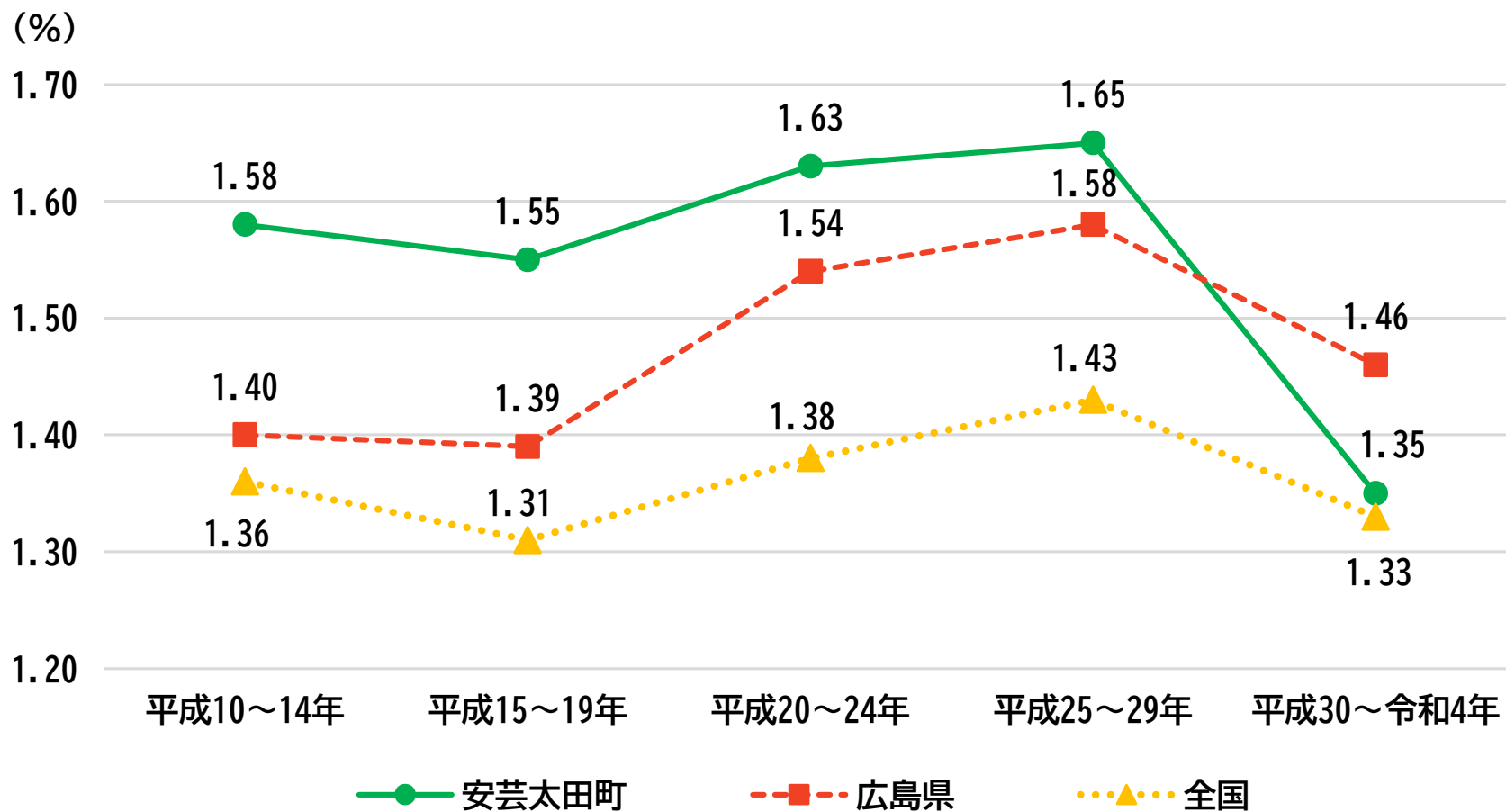
(1) 人口

2) 年齡5歲階級 男女別人口構造



《 5歲階級別 》

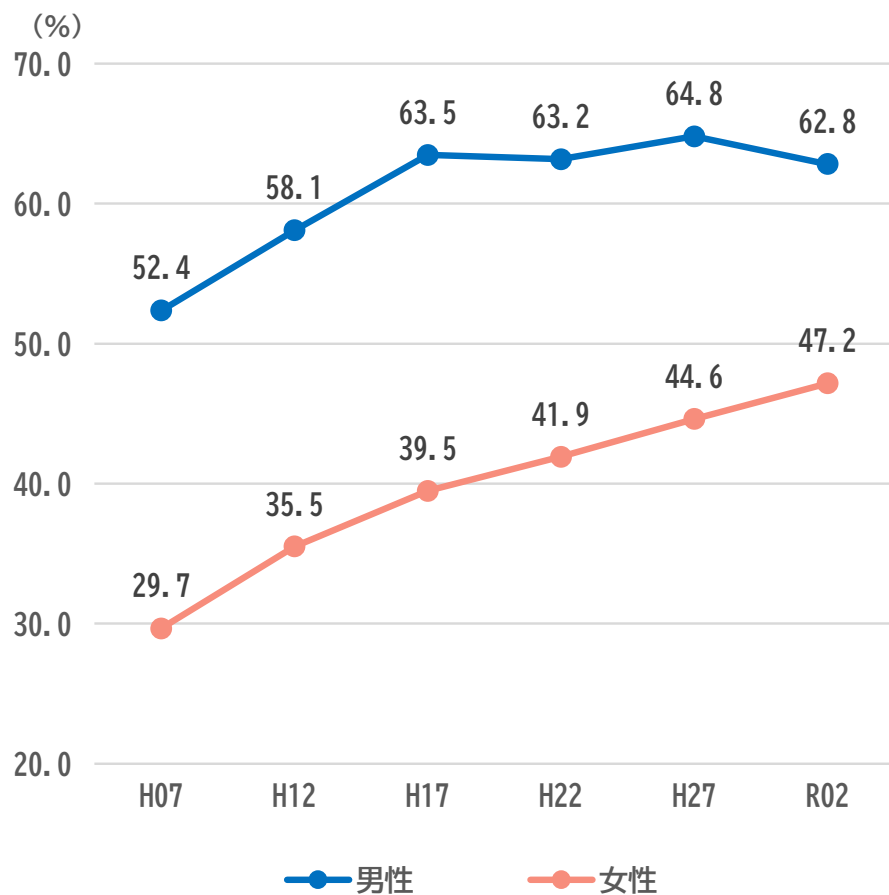
(2) 合計特殊出生率



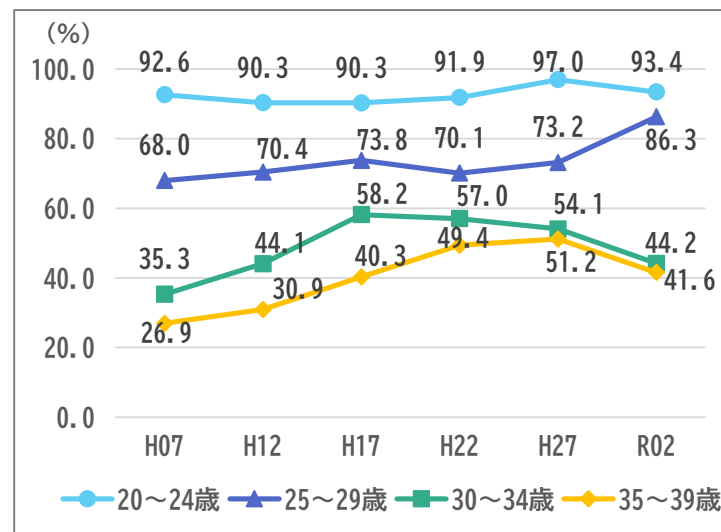
【人口置換水準 : 約 2.07】

《合計特殊出生率の比較》

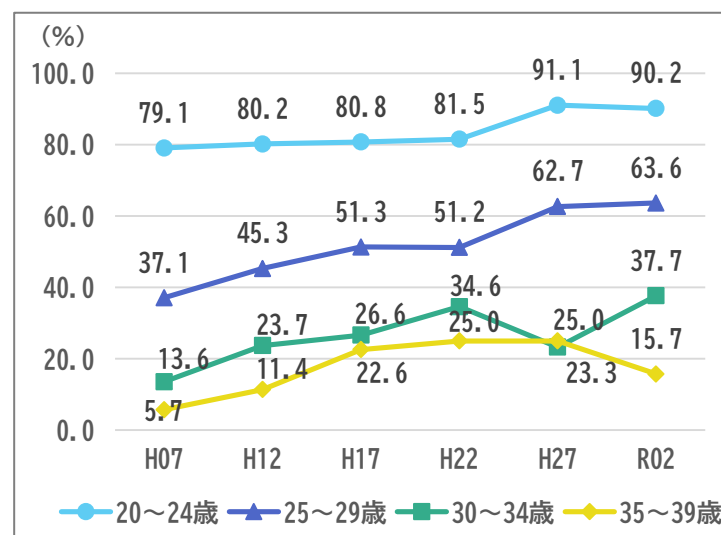
(3) 未婚率の推移



《男女別》

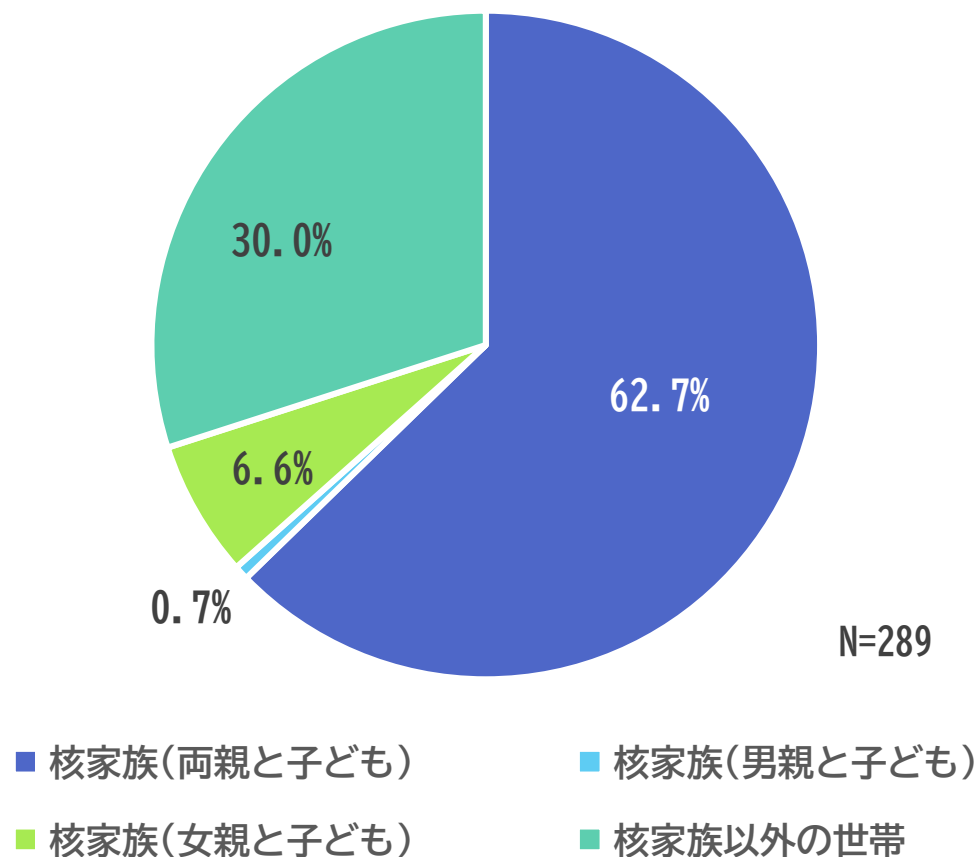


《年齢別 (男性)》



《年齢別 (女性)》

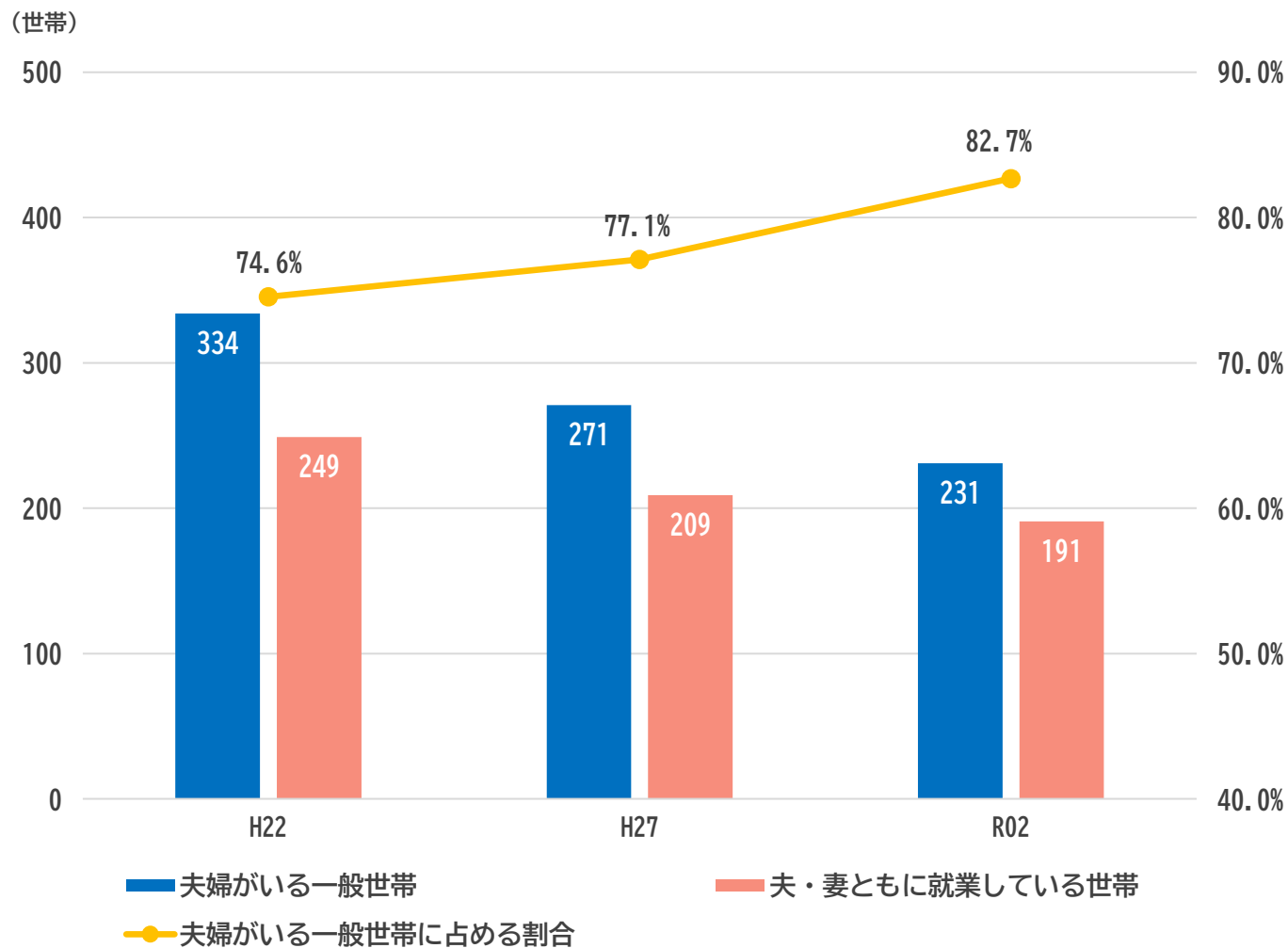
(4) 子どものいる世帯の家族形態



《子どものいる世帯の家族形態》

※18歳未満の子のいる世帯

(5) 共働き世帯の状況

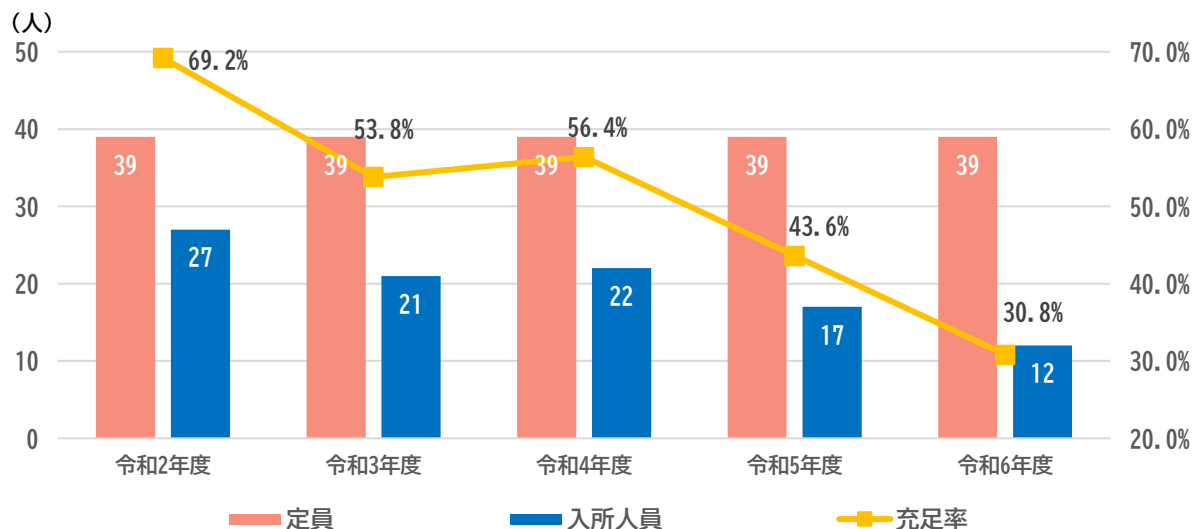


《共働き世帯の状況》

2. 教育・保育施設等の 充足状況

(1) 保育所・小規模保育事業所

《修道保育所と筒賀保育所計》

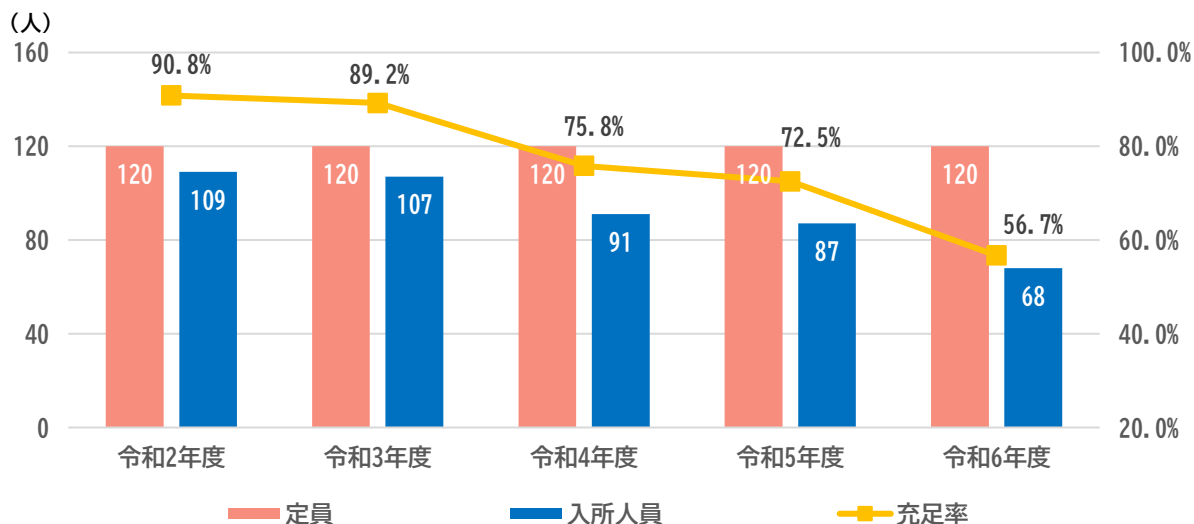


《令和6年の入所状況》

名称	項目	1号	2号	3号	計
修道保育所	定員	—	16	4	20
	入所人員	—	4	1	5
	充足率	—	25.0%	25.0%	25.0%
筒賀保育所	定員	—	19	—	19
	入所人員	—	7	—	7
	充足率	—	36.8%	—	36.8%

(2) 認定こども園

《認定こども園とごうちと加計認定こども園あさひ》

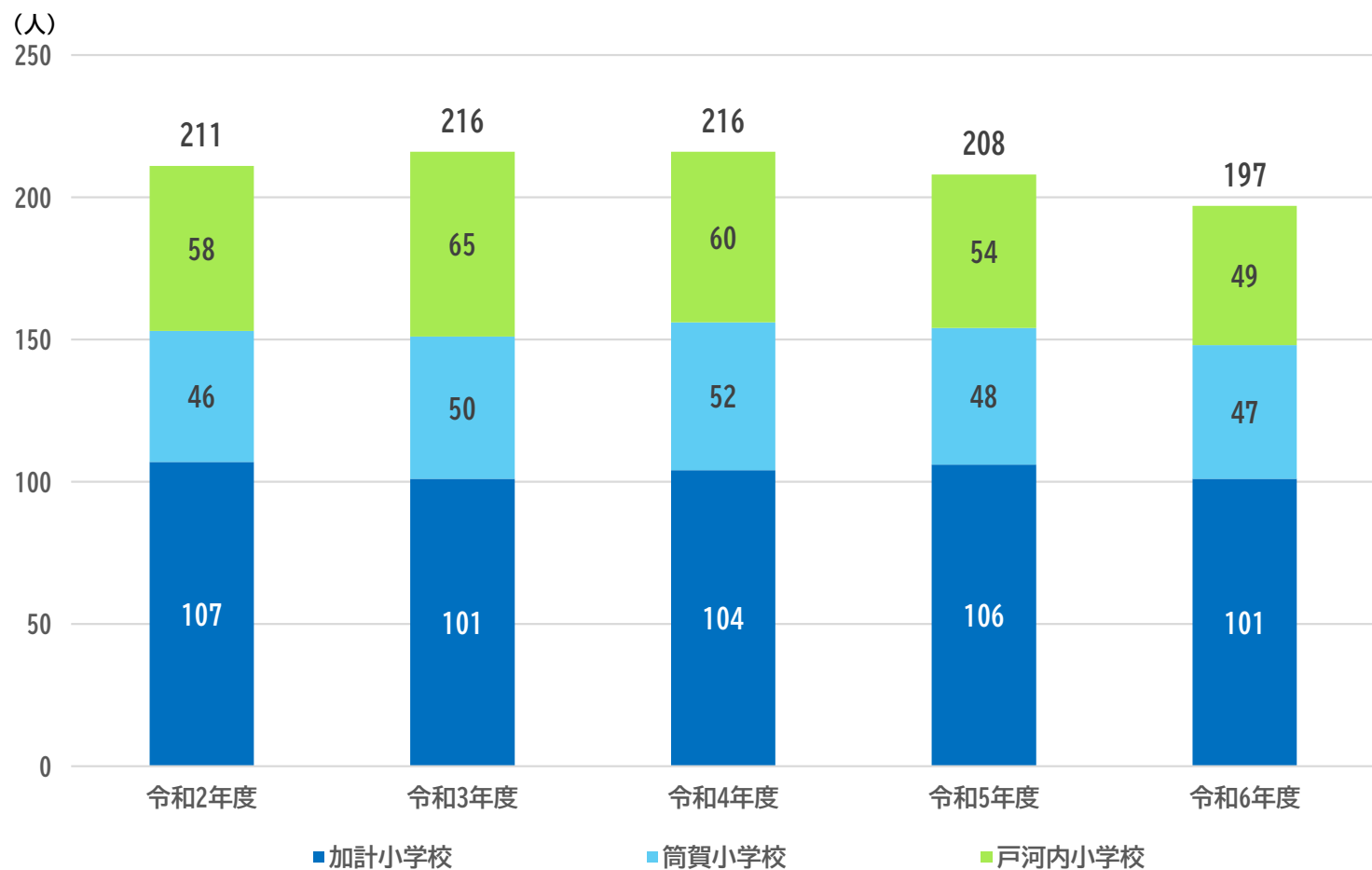


《令和6年の入所状況》

名称	項目	1号	2号	3号	計
認定こども園 とごうち	定員	5	38	17	60
	入所人員	1	25	14	40
	充足率	20.0%	65.8%	82.4%	66.7%
加計認定 こども園 あさひ	定員	9	36	15	60
	入所人員	0	22	6	28
	充足率	0%	61.1%	40.0%	46.7%

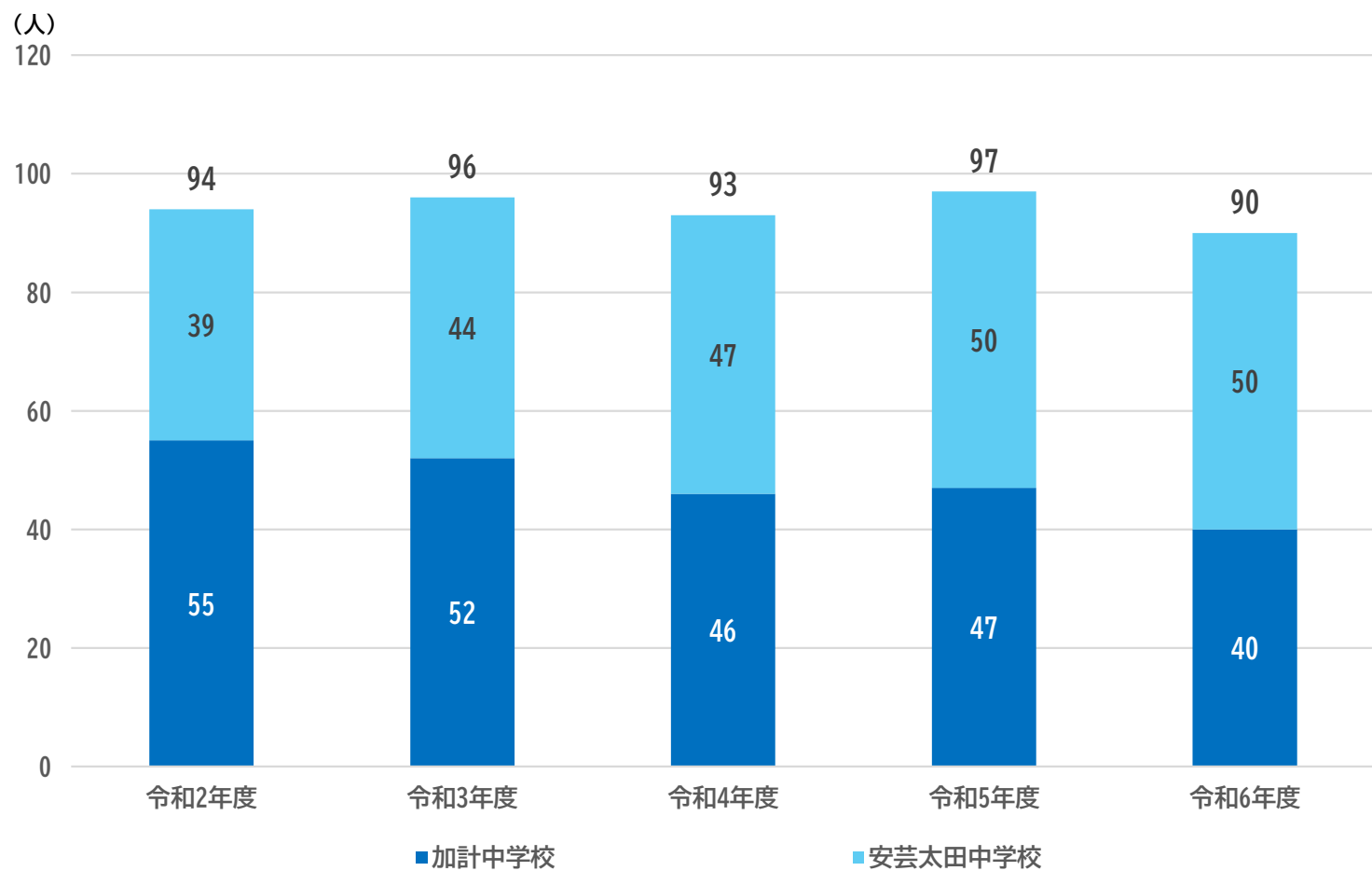
(3) 小学校

《小学校の生徒数の推移》



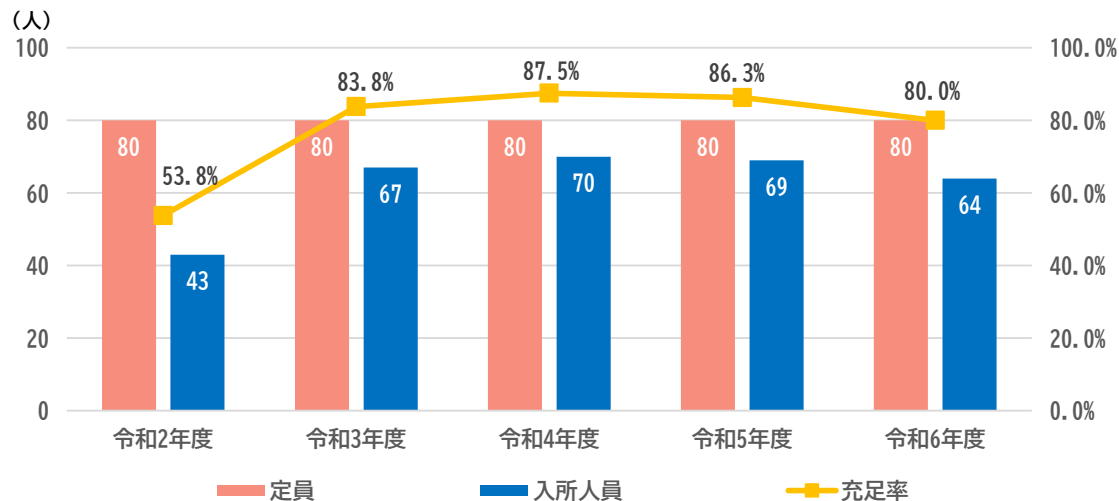
(4) 中学校

《中学校の生徒数の推移》



(5) 放課後児童クラブ

《筒賀放課後児童クラブと加計放課後児童クラブ》



《令和6年の入所状況》

名称	項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
筒賀放課後児童クラブ	定員	40	40	40	40	40
	入所人員	25	37	37	32	31
	充足率	62.5%	92.5%	92.5%	80.0%	77.5%
加計放課後児童クラブ	定員	40	40	40	40	40
	入所人員	18	30	33	37	33
	充足率	45.0%	75.0%	82.5%	92.5%	82.5%
合計	定員	80	80	80	80	80
	入所人員	43	67	70	69	64
	充足率	53.8%	83.8%	87.5%	86.3%	80.0%

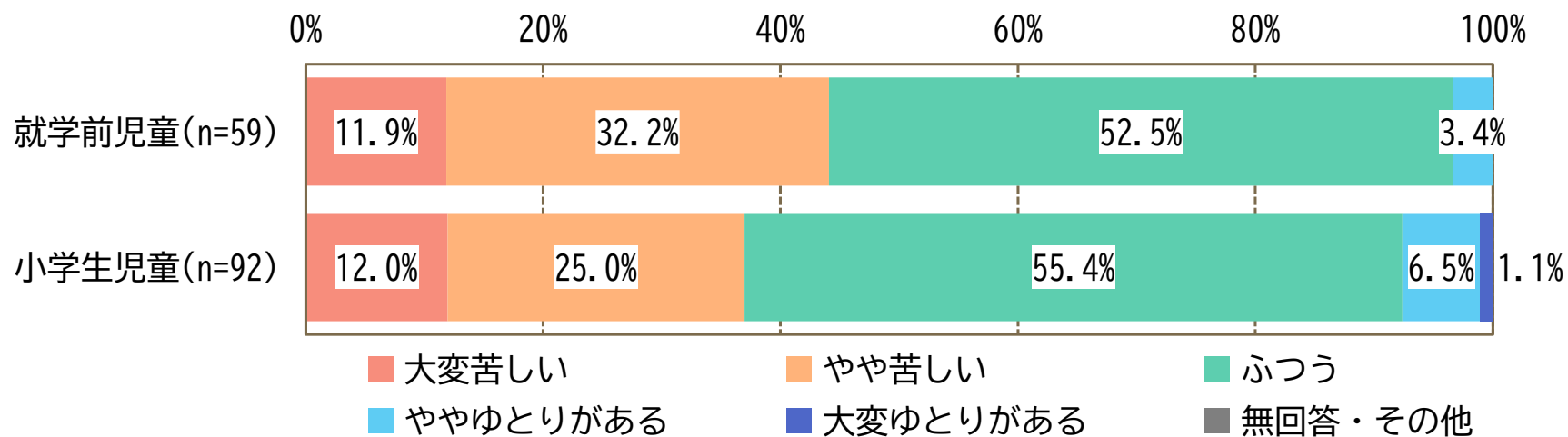
3. アンケート調査結果 (選択式質問)

(1) アンケート調査の概要

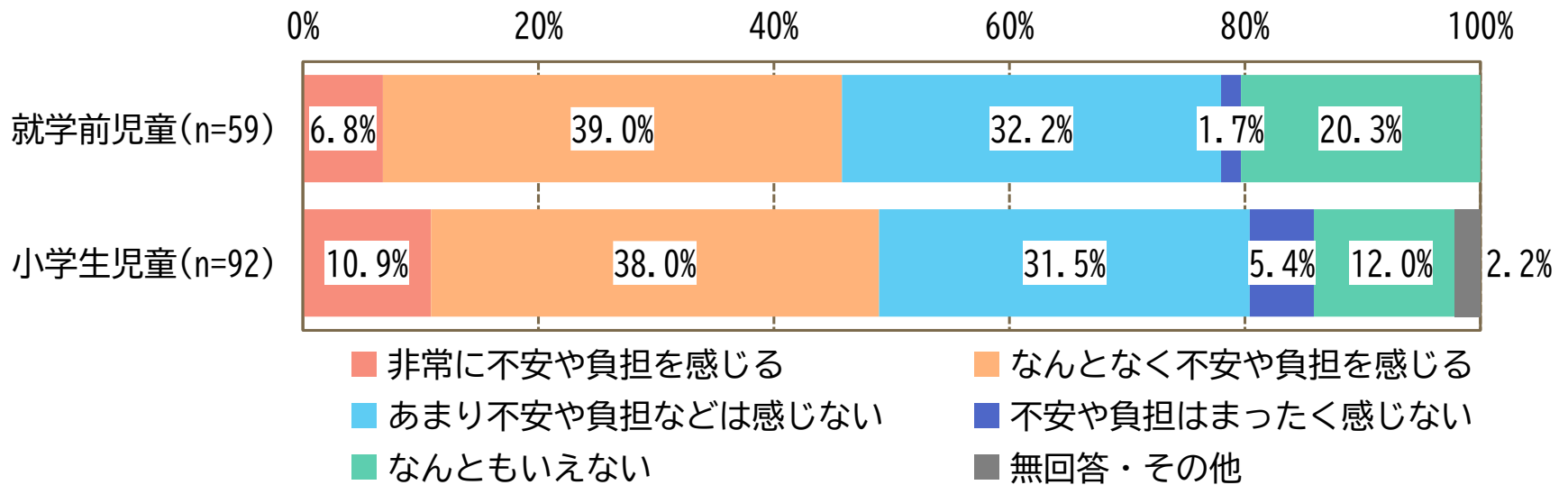
《アンケート調査の概要》

項目	内容
対象者	<ul style="list-style-type: none">● 就学前児童が属する世帯● 小学生児童が属する世帯
調査方法	<ul style="list-style-type: none">● 調査票の郵送配布・ 郵送回収・ WEB回答（Googleフォームを使用）
調査期間	<ul style="list-style-type: none">● 令和6年2月7日～2月26日
回収状況	<ul style="list-style-type: none">● 配布数 238件（就学前児童99人、小学生児童139人）● 有効回収数 151件（就学前児童59人、小学生児童92人）● 有効回収率 63.4%（就学前児童59.6%、小学生児童66.2%） <p>【回収方法別の回収状況】</p> <ul style="list-style-type: none">● 就学前児童 郵送回収：38件（64.4%）、web回収：21件（35.6%）● 小学生児童 郵送回収：53件（57.6%）、web回収：39件（42.4%）● 全 体 郵送回収：91件（60.3%）、web回収：60件（39.7%）

(2) 現在の暮らしの状況



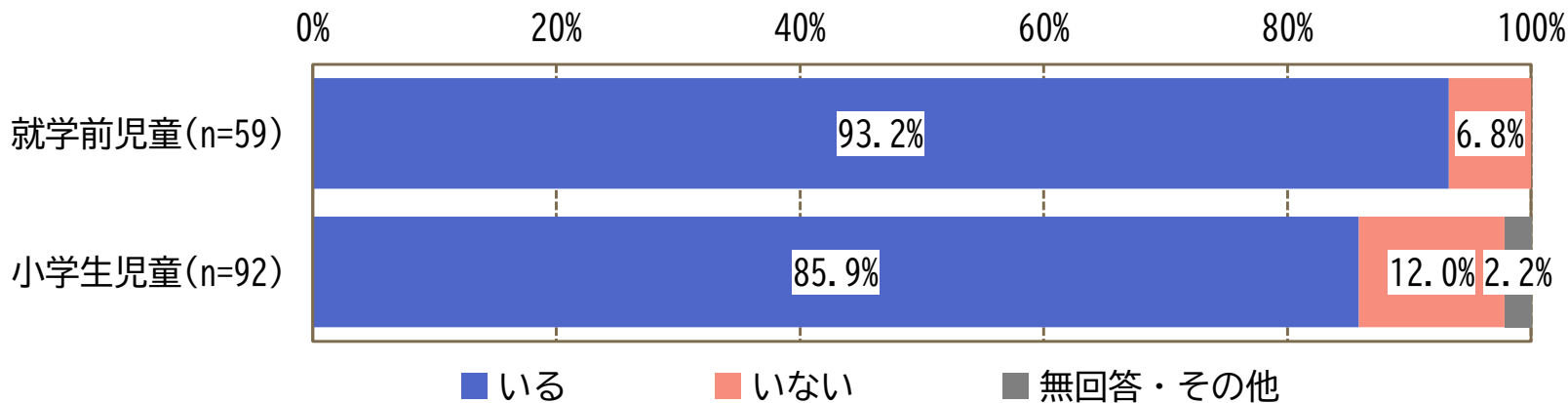
(3) 子育てに関する不安や負担を感じるか



(4) 子育てについて日頃悩んでいること

回答項目	就学前児童 (n=59)	小学生児童 (n=92)
子どもとの時間を十分とれないこと	33.9%	33.7%
子どもの病気や発育・発達に関すること	27.1%	31.5%
子どもの教育に関すること	23.7%	27.2%
子どもを叱りすぎているような気がする	20.3%	23.9%
子どもの食事や栄養に関すること	22.0%	18.5%
子どもとの接し方に自信がもてないこと	16.9%	17.4%
子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	13.6%	18.5%
仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	15.3%	13.0%
育児の方法がよくわからないこと	3.4%	7.6%
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲からの目が気になること	5.1%	4.3%
子育てのストレス等により、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	5.1%	4.3%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	5.1%	3.3%
子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	6.8%	1.1%
不登校に関すること	3.4%	4.3%
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	1.7%	3.3%
話し相手や相談相手がいないこと	1.7%	2.2%
地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからないこと	3.4%	0.0%

(5) 子育てについて気軽に相談できる人の有無



回答項目	就学前児童 (n=55)	小学生児童 (n=79)
親や兄弟姉妹などの親族	76.4%	74.7%
友人・知人	69.1%	72.2%
配偶者・パートナー	63.6%	69.6%
保育所・認定こども園の先生	36.4%	8.9%
近所の人	5.5%	7.6%
子育て支援センター・児童センター等	3.6%	3.8%
保健師	3.6%	2.5%
町の子育て関連窓口	1.8%	1.3%
かかりつけの医師	1.8%	1.3%
民生委員・児童委員	0.0%	1.3%
保健センター	0.0%	0.0%

(6) 子どもの人数に関する理想と現実

回答項目	就学前児(n=59)			小学生児(n=92)		
	理想(A)	現実(B)	差(B-A)	理想(A)	現実(B)	差(B-A)
1人	5.1%	23.7%	18.6%	4.3%	10.9%	6.6%
2人	35.6%	44.1%	8.5%	28.3%	45.7%	17.4%
3人以上	57.6%	32.2%	-25.4%	64.1%	40.2%	-23.9%
無回答その他	1.7%	0.0%	-1.7%	3.3%	3.3%	0.0%
合計	100.0%	100.0%		100.0%	100.1%	

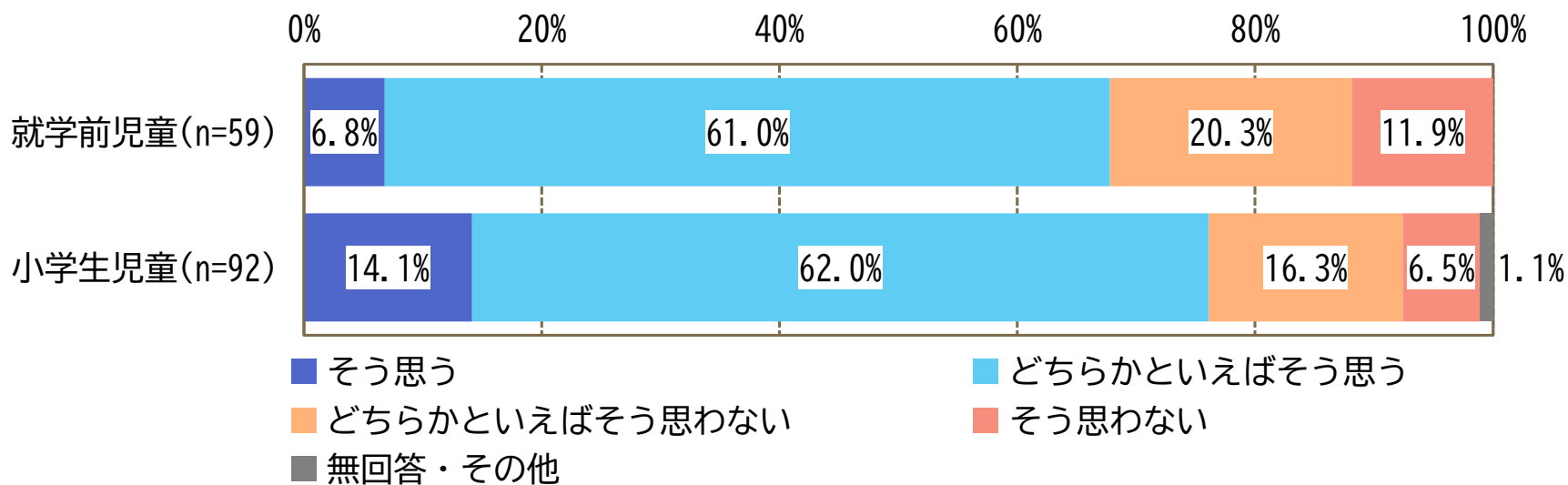
(7) 現実的な子ども的人数が、理想的な子ども的人数よりも少ない理由

回答項目	就学前児童 (n=27)	小学生児童 (n=31)
経済的に厳しいから	74.1%	67.7%
体力・健康の面で難しいから	29.6%	45.2%
仕事と子育ての両立が難しいから	33.3%	29.0%
自分のやりたいことが十分にできないから	11.1%	12.9%
子どもを取り巻く社会環境が不安であるから	11.1%	9.7%
子育てが楽しいと思えないから	3.7%	6.5%
家族の看護や介護があるから	3.7%	0.0%

(8) お子さんの普段の主な遊び場

回答項目	就学前児童 (n=59)	小学生児童 (n=92)
自分の家、友だちの家、自宅周辺	86.4%	95.7%
保育所、認定こども園等の園庭	57.6%	8.7%
ショッピングセンターなどの商業施設	13.6%	17.4%
地域にある公園	13.6%	14.1%
公民館、神社、寺院	0.0%	2.2%

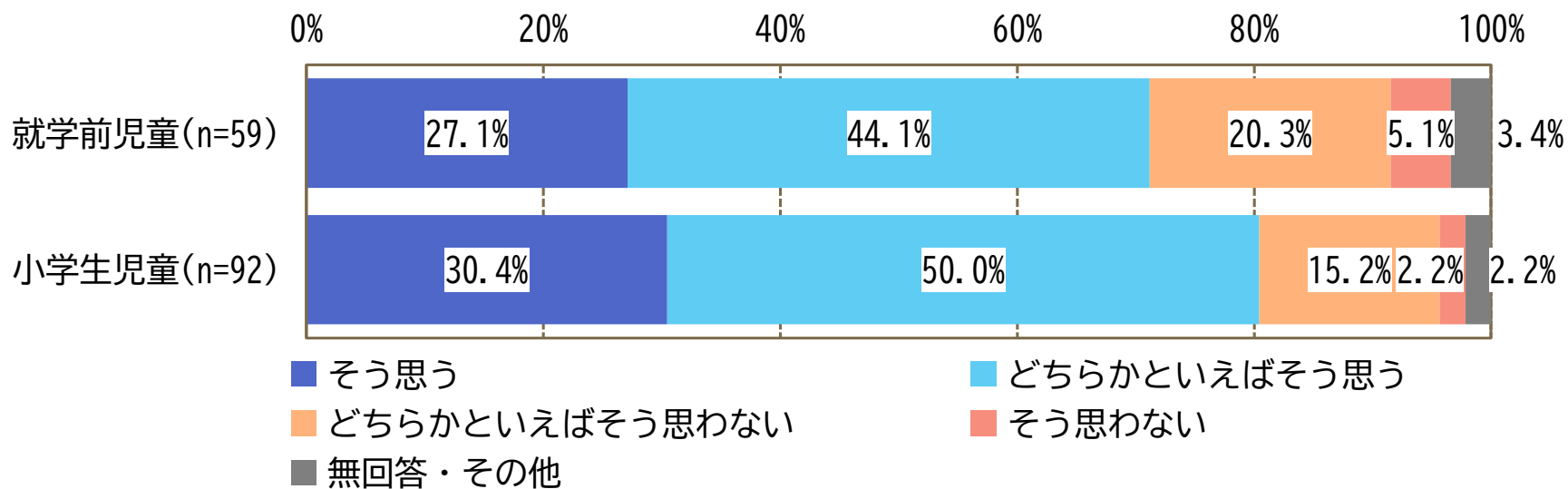
(9) 安芸太田町は子育てがしやすいまちか



(10) 町に期待する子育て支援の内容

回答項目	就学前児童 (n=59)	小学生児童 (n=92)
安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	61.0%	54.3%
保育所や認定こども園、就学にかかる費用負担を軽減してほしい	35.6%	17.4%
子連れでも出かけやすく楽しめる場所（子育てサークル等）を増やしてほしい	28.8%	23.9%
児童館など、親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会がほしい	25.4%	19.6%
残業時間の短縮や休暇取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	23.7%	16.3%
子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場（子育て支援センター等）をつくってほしい	5.1%	10.9%
多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい	6.8%	8.7%
子育てについて学べる機会をつくってほしい	10.2%	3.3%
ファミリー・サポート・センターの制度をつくってほしい	-	13.0%
専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい	5.1%	7.6%

(11) この地域で今後子育てをしていきたいか



4. アンケート調査結果 (自由記述)

(1) 分類別回答数

《自由記述における分類別回答数》

NO.	分類	就学前児童	小学生児童	合計
1	支援策	14	7	21
2	遊び場	12	6	18
3	医療	11	6	17
4	一時預かり	8	4	12
5	教育	1	6	7
6	保育園	5	0	5
7	放課後児童クラブ	2	3	5
8	住宅	2	3	5
9	習い事	2	3	5
10	その他	3	2	5
11	情報発信	1	3	4
12	相談	1	2	3
13	障害者	2	1	3
14	その他の施設	2	1	3
15	ご近所づきあい	0	2	2
16	送迎	1	1	2
17	飲食店	2	0	2
18	イベント	0	2	2
19	避難	1	1	2
	合計	70	53	123

(2) 分類別の主な回答

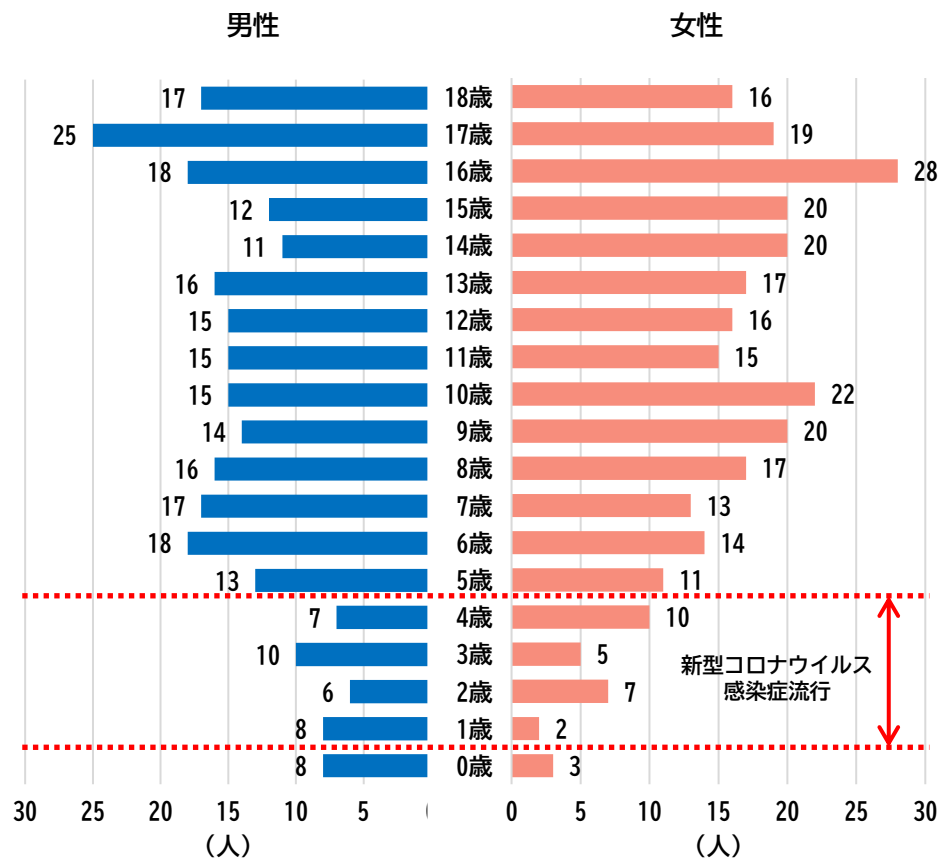
《自由記述における主な回答》

分類	内容
支援策	<ul style="list-style-type: none">● 経済的なサポート● 0～2歳児の保育料減額・無料
遊び場	<ul style="list-style-type: none">● 公園（たくさんの遊具）、遊び場● 屋根付きの遊び場● サイクリングコース、自転車で自由に走れる場所
医療	<ul style="list-style-type: none">● 小児科・医療施設
一時預かり	<ul style="list-style-type: none">● 気軽に子どもを預けられる場所● 病児保育● ファミリー・サポート・センター
教育	<ul style="list-style-type: none">● 高校への通学が心配・帰りの便を1便増やしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none">● 家事のお手伝いサービス● 日曜保育● 雨や雪で小学校が休校のとき、放課後児童クラブも休むと困る● 習い事がしやすい環境・情報提供● 積極的な情報提供・情報共有● 気軽に相談できる場所● 警報時に預けられる場所

5. まとめ（課題の整理等）

(1) 「0～4歳」の人数が大きく減少しています。

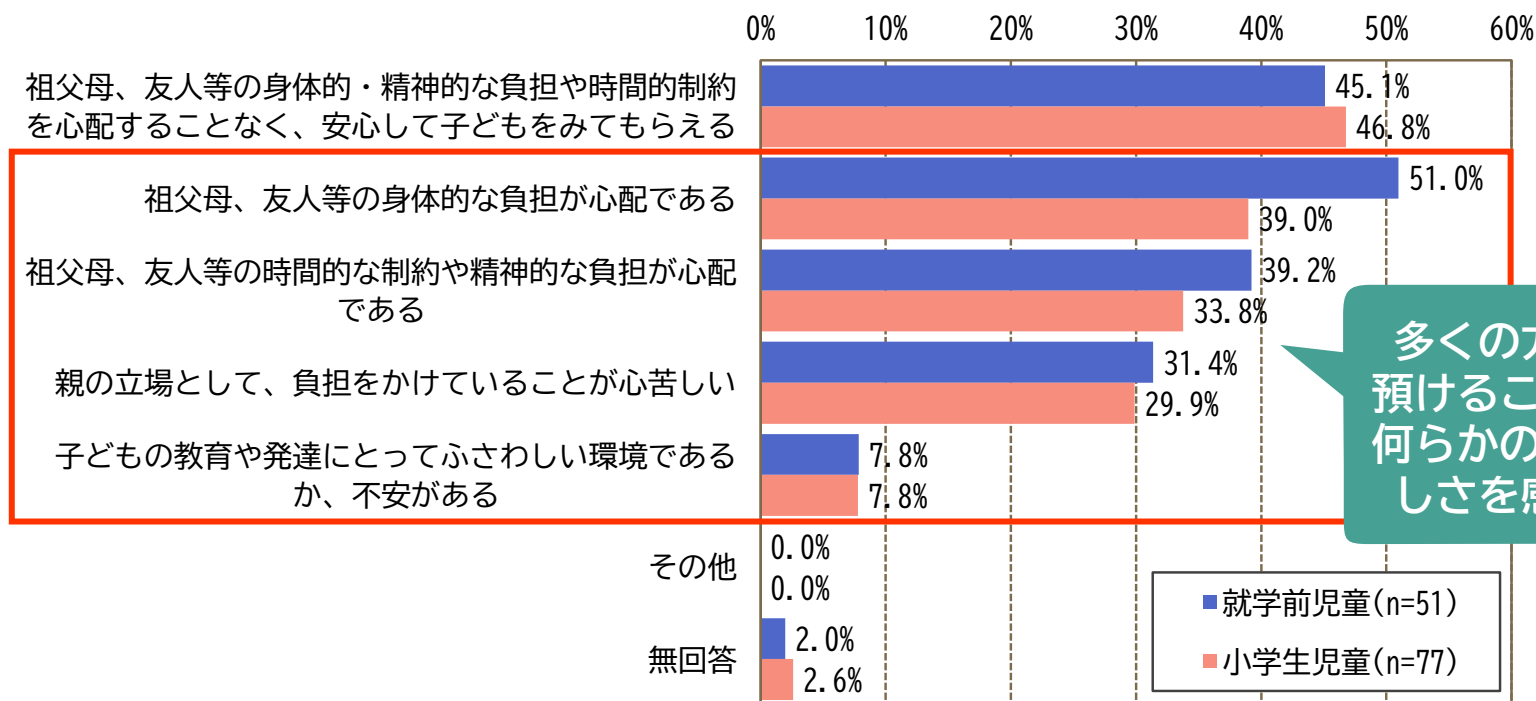
- 「0～4歳」のこどもの母親が多く属する「30～34歳」の女性が前後の年齢区分と比べて極端に少ない点や、新型コロナウイルス感染症の蔓延等を背景に、「0～4歳」区分の子どもの数が他の年齢区分と比べて男女ともに大きく減少しています。
- ここで、1歳階級別の人口ピラミッドをみると、新型コロナウイルス感染症が5類に下げられた後においても「0歳」人口が回復していません。
- このような状況の中、今後の子どもの出生数増加に向けて、子どもを安心して産み、育てられる環境整備をさらに推進する必要があります。



《1歳階級別人口ピラミッド（18歳以下）》

(2) 子育て支援を必要とする家庭が増えています。

- シングルマザーやシングルファザーのご家庭は、18歳未満の子のいる世帯の7%となり、また、共働き世帯の割合は令和2年には82.7%まで上昇しています。
- ここで、日ごろお子さんを見てもらえる親族・知人が「いない」と回答した方は、就学前児童、小学生児童ともに15%程度に上り、「いる」と答えた方でも、多くの方が子供を預けることについて何らかの心配や心苦しさを感じています。
- このため、子育て世帯のニーズに応じて、教育・保育事業や子育て支援事業の進化を図り、より利用しやすい事業としていく必要があります。

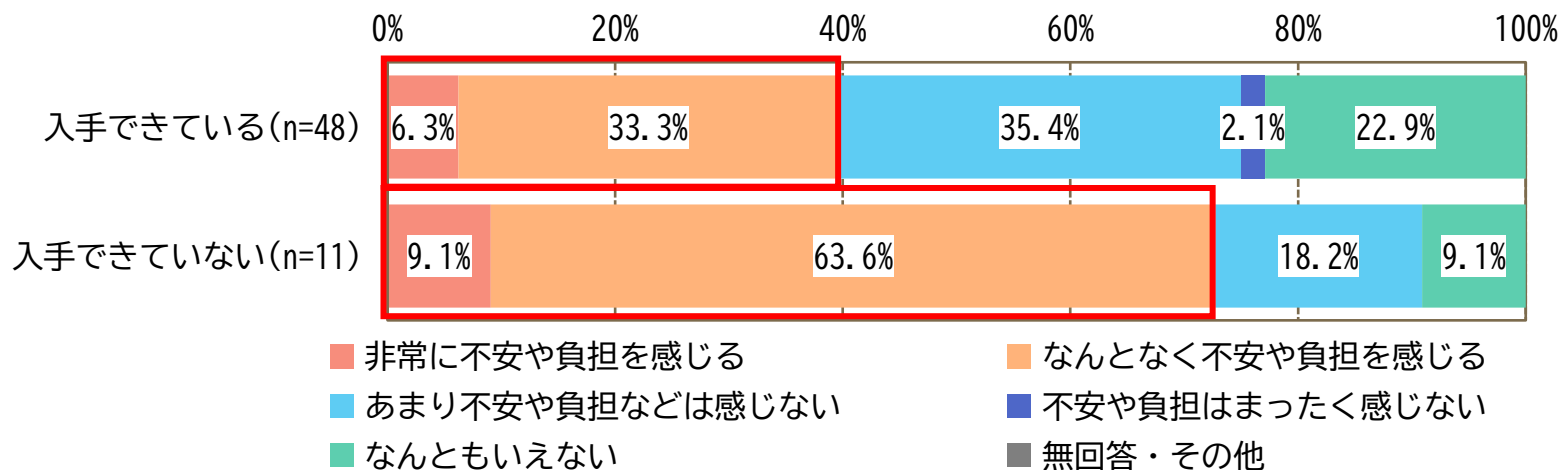


《お子さんを親族・知人にみてもらっているときの状況》

(3) 多くの方が子育てに不安や負担を感じています。

- 子育てに関して「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」と回答した方の割合は、就業前児童、小学生児童ともに5割近くに上っています。
- ここで、子育てに関する不安や負担の感じ方について、情報の入手状況別、子育て仲間の有無別にみると「情報を入手できている」、「子育て仲間がいる」と回答した方は、そうでない方に比べて15%程度不安を感じる割合が低くなっており、特に就学前児童において情報入手有無別の差が大きくなっています。
- このため、情報の内容や提供方法、提供タイミング等についてさらに工夫をこらすとともに、子育て仲間の形成支援など、子育ての不安や負担軽減に向けた取組みを推進する必要があります。

「入手できている」と回答した方は不安や負担を感じている割合が少ない



《子育てに不安や負担を感じる割合と情報入手状況のクロス集計結果》

(4) 多くの方が3人以上の子どもを望んでいます。

- 理想的な子どもの人数として「3人以上」と回答した方は就学前児童で57.6%、小学生児童で64.1%に上る一方、現実的な子どもの数として「3人以上」と回答した方は、それぞれ32.2%、40.2%にとどまり、いずれも25%程度低い値となっています。
- その理由としては「経済的に厳しいから」が突出し、現在の暮らしに関するアンケート調査結果をみても「大変苦しい」、「やや苦しい」が約4割に上り、特に就学前児童では、前回調査結果に比べてその割合が1割以上増加しています。
- このため、財政状況も考慮しつつ、効率的・効果的な支援策について、検討を行う必要があります。

前回結果と比べて14.1%増加

選択肢	就学前児童			小学生児童		
	今回 (N=59)	前回 (N=120)	今回-前回	今回 (N=92)	前回 (N=118)	今回-前回
1 大変苦しい	11.9%	9.2%	2.7%	12.0%	8.5%	3.5%
2 やや苦しい	32.2%	20.8%	11.4%	25.0%	24.6%	0.4%
3 ふつう	52.5%	60.0%	-7.5%	55.4%	56.8%	-1.4%
4 ややゆとりがある	3.4%	6.7%	-3.3%	6.5%	5.9%	0.6%
5 大変ゆとりがある	0.0%	0.8%	-0.8%	1.1%	2.5%	-1.4%
6 無回答	0.0%	2.5%	-2.5%	0.0%	1.7%	-1.7%
合計	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	

《子育てに不安や負担を感じる割合と情報入手状況のクロス集計結果》

(5) 公園や医療施設を望む声が多くなっています。

- 普段の遊び場について「公園」と回答した方は就学前児童、小学生児童ともに15%程度にとどまる一方、あると良いサポートに関する自由回答では、「公園・遊び場」という回答が3番目に多くなっています。
- また、町に充実を求めてほしい子育て支援では、「安心して子供が医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が就学前児童、小学生児童ともに5割を超えて突出しており、あると良いサポートに関する自由回答でも「医療機関」が最も多く挙げられています。
- このため、子どもがのびのびと遊べる場の提供や医療機関の体制整備等を含め、健やかに子どもが育ち、安心して子育てができるまちづくりに向けて、必要な取組を進める必要があります。

《公園整備に関する自由回答（主な意見を抜粋）》

- 広場だけではなく**遊具やアスレチック**などで遊べる公園がほしい。
- 子どもたちが気軽に自分たちで集合して遊べる場が欲しいです。**昔の小学校のように、帰宅後や休日に子どもたちや親子等が自由に遊べる場（公園等）**が、加計にもあるともっと子どもたちが外で遊べ、体力向上にも繋がると思います。
- 高速だと市内からも近いので、加計BS周辺の国道191号添いにも**戸河内のわくわくランドのような広めの公園**があるといいなと思います。